

第 5 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(千葉南部森林計画区)

計 画 期 間 自 平成27年 4 月 1 日
至 平成32年 3 月 31 日

関 東 森 林 管 理 局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	6
(1)	保護林の名称及び区域	6
(2)	緑の回廊の名称及び区域	6
6	レクリエーションの森の名称及び区域	7
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	9
8	その他必要な事項	9
(1)	施業指標林、試験地等	9
(2)	フィールドの提供	10
(3)	森林共同施業団地	10
(4)	その他	10

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施 業 群	面 積	取 扱 い の 内 容	伐期齢又は回帰年
ス ギ 長 伐 期	525.58	伐採面積の縮小、モザイク的配置	80
ス ギ 分 散 伐 区	439.95	〃	45
ヒ ノ キ 長 伐 期	714.20	〃	100
ヒ ノ キ 分 散 伐 区	762.33	〃	50
ス ギ 複 層 林	450.43	水源涵養 ^{かん} 機能に配慮した非皆伐	45～90
ヒ ノ キ 複 層 林	374.11	〃	50～100
ぼ う 芽 分 散 伐 区	817.12	伐採面積の縮小、モザイク的配置	25
天然林漸伐分散伐区	2.26	伐採面積の縮小、モザイク的配置、 伐採率の縮小	70
択 伐	293.02	(注1)	回帰年は定めない
そ の 他	277.42	(注2)	定めない
設 定 外	1,163.02	(注3)	定めない
合 計	5,819.44		

- (注) 1 択伐施業群の伐採は森林の管理経営の指針で定める伐期齢以上とし、水源涵養^{かん}機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。
- 2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。
- 3 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。
- 4 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施 業 群	上限伐採面積	摘 要
ス ギ 長 伐 期	33	
ス ギ 分 散 伐 区	49	
ヒ ノ キ 長 伐 期	36	
ヒ ノ キ 分 散 伐 区	76	
ス ギ 複 層 林	50	
ヒ ノ キ 複 層 林	37	
ぼ う 芽 分 散 伐 区	163	
天 然 林 漸 伐 分 散 伐 区	0	(0.16ha)
択 伐	29	
そ の 他	28	
合 計	502	

(4) 伐採総量

(単位：材積 m^3)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ		—	6,297 (70.42)	6,297				
自然維持タイプ		—	88 (1.64)	88				
森林空間利用タイプ		—	9,046 (99.69)	9,046				
水源 かん 涵 養 タ イ プ	スギ長伐期	—	8,683	8,683				
	スギ分散伐区	4,154	11,209	15,363				
	ヒノキ長伐期	—	11,537	11,537				
	ヒノキ分散伐区	10,339	24,928	35,267				
	スギ複層林		14,629	14,629				
	ヒノキ複層林	2,239	10,949	13,188				
	ぼう芽分散伐区	232		232				
	択 伐	—	673	673				
	そ の 他	—	330	330				
	設 定 外	42,726	5,257	47,983				
	計	59,690	88,195 (1001.86)	147,885				
合 計		59,690	103,626 (1173.61)	163,316	20,400		—	183,716
年 平 均		11,938	20,725 (234.72)	32,663	4,080		—	36,743

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m^3)

市 町 村 名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
木更津市	—	1,301	1,301				
勝 浦 市	9,741	34,633	44,374				
君 津 市	24,558	23,852	48,410				
富 津 市	6,449	12,223	18,672				
大 多 喜 町	18,942	31,617	50,559				
合 計	59,690	103,626	163,316				

(注) 市町村内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	120.94	120.94
	複 層 林 造 成	—	—	—	11.10	11.10
	計	—	—	—	132.04	132.04
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	6.13	6.13
	計	—	—	—	6.13	6.13
合 計		—	—	—	138.17	138.17

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
保 育	下 刈	—	—	—	486.47	486.47
	つ る 切	—	—	—	34.32	34.32
	除 伐	—	—	—	72.23	72.23

3 林道の整備に関する事項

基 幹・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
そ の 他	開 設	妙見山	10	300	(格上)
		古新田	5、6	300	
		三川谷	78、79	500	
		三川谷支線	78	270	
		三川谷第二	77	585	
		小坂沢	79	100	
		不動谷	98	944	(格上)
		上修行堀第一	30	680	
		上修行堀第二	30	320	
		栗又	45、46	1,220	(格上)
	小 計	10線		5,219	
	改 良	筒森（杉戸）	13～20	50	
		古新田	5、6	120	
		田代（田代）	64、65	80	
		鬼汨	103	70	
		筒森（大森）	32	80	
		大森第二支線	32	60	
		大杉第一支線	34	80	
	小 計	7路線		540	
計	開 設	10路線		5,219	
	改 良	7路線		540	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
24、26～28、31、38～40、47、48、 51～54、61～63、66～68、71～76、 113～115	保安林の整備	本数調整伐	252ha
118	保安施設	山腹工	1箇所
合 計	保安林の整備	本数調整伐	252ha
	保安施設	山腹工	1箇所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区では、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保全を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	新 設 ・ 既 設	面積(ha)	位 置 (林 小 班)	特 徴 等
林 木 遺 伝 資 源 保 存 林	元 清 澄 山	既 設	170.29	60 い ₁ 、い ₂ 、ほ 63 い、は、に ₁ 、 に ₂ 64 い ₁	房総丘陵のほぼ中央、 元清澄山頂上付近に位置 し、この地方には稀少な モミ、ツガ、ヒメコマツ などの天然林である。
林 木 遺 伝 資 源 保 存 林 計			170.29		
植 物 群 落 保 護 林	南 房 総 暖 温 帯 性	既 設	4.24	32 う ₂ 33 ほ	モミを主とする房総半 島南部の代表的な暖温帯 性の天然林である。
植 物 群 落 保 護 林 計			4.24		
合 計			174.53		

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設・新設	面積 (ha)	位置 (林 小 班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育林	筒 森	既 設	103.85	7 い ₃ 〜ろ、に、と〜り、 る〜よ、れ、そ、 ね ₁ 〜む、の、く、ま〜さ 32 む ₁ 〜う ₁ 、の ₁ 、の ₂ 33 い ₁ 〜に、へ〜り、る、 か〜た、お ----- 7 は、ほ、へ、ぬ、た、 つ、う、お、や 32 く 33 ぬ、わ ----- 7 イ 32 イ	大正時代に植栽（スギ・ヒノキ）・設定された展示林と勝浦ダム周辺のハイキングコースがあり、市民の自然観察等に利用されている。 このため、利用者の安全等に配慮し、巡視の強化に努めることとする。	育成複層林へ導くための施業 （以下、育成複層林施業という。） ----- 天然生林へ導くための施業 （以下、天然生林施業という。） ----- 林 地 以 外	整備されている代表的な施設は以下のとおり 実施主体：国・歩道	国が整備する施設整備の計画なし	
自然観察教育林計			103.85						

種類	名 称	既設・新設	面積 (ha)	位 置 (林 小 班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	麻 綿 原	既 設	30.63	35 に〜ほ ₂ 、と、ぬ、 か ₁ 〜よ、れ	アジサイ園と一体となった景観美を呈している。 このため、引き続き景観の維持に努めることとする。	育成複層林へ導くための施業	該当なし	国が整備する施設整備の計画なし	
				35 ろ、へ、ち、り、る、 わ、た ₁ 、た ₂ 、そ		天然生林へ導くための施業			
				35 イ、ロ		林 地 以 外			
	久 留 里	既 設	92.03	58 は、ほ、り、る、か、 れ、ね、ら、む、の〜ま 59 い、は、に ₂ 、ほ、と、 り〜よ、れ〜な、の	君津市市街地近郊に位置し、久留里城と一体となった景観美を呈しており、引き続き景観の維持に努めることとする。	育成複層林へ導くための施業	実施主体：君津市 ・資料館 ・林道 ・歩道	〃	
58 い、ろ、に、へ〜ち、 ぬ、わ、よ、た、そ、 つ、な、う、こ、え 59 ろ、に ₁ 、へ、ち、た、 ら、う	天然生林へ導くための施業								
58 ロ、ハ 59 イ、ロ	林 地 以 外								
風景林計			122.66						
合計			226.51						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	間伐施業指標林	H 2	1.34	32 と	間伐技術の定着及び普及並びに充実を図る。
	複層林施業指標林	H 2	0.68	89 い ₂	育成複層林へ導くための施業の推進を図る。
	〃	H 2	2.05	101 わ	〃
	椎茸原木林育成天然林施業指標林	H 2	0.65	90 に	天然生林へ導くための施業の推進を図る。
施 業 指 標 林 計			4.72		
試 験 地	筒森スギ 収穫試験地	S 4	1.73	33 い ₂	成長量、収穫量及びその他の統計資料を収集し、林分構造の推移を解明する。
試 験 地 計			1.73		
展 示 林	筒森	T14	2.47	32 の ₁ 、の ₂	国内外の広葉樹が多数生育し学術及び林業技術上の参考林等としての価値が高い。
	上修行堀	S50	0.45	26 り	良好な人工造林地（ヒノキ）として学術及び林業技術上の参考林等としての価値が高い。
展示林計			2.92		
次 代 検 定 林	一般次代検定林	S51	0.54	3 え ₂	(関東22号)
	〃	S62	0.78	11 よ ₄	(関東55号)
	地域差検定林	S54	0.47	26 ろ ₂	(関東23号)
次代検定林計			1.79		
合 計			11.16		

(2) フィールドの提供

位置 (林小班)	設定の目的	協定団体
95 る ₃	ふれあいの森 (FIC君津の森)	設 定：平成15年10月 実施主体：千葉県森林インストラクター会 面 積：0.87ha
103 ち、そ 104 む	ふれあいの森 (交流の森)	設 定：平成19年11月 実施主体：林野庁内森林ボランティアクラブ 面 積：2.07ha
95 る ₄ ～る ₇	遊々の森 (遊々の森千葉)	設 定：平成15年10月 実施主体：千葉県森林インストラクター会 面 積：1.97ha
89 い ₃	社会貢献の森 (スカウトの森)	設 定：平成13年1月 実施主体：(一社)ガールスカウト千葉市協議会 面 積：1.45ha

(3) 森林共同施業団地

該当なし。

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
7 い ₁ 、い ₂ 33 れ ₁ ～つ ₃ 、な～む ₃ 、の、く 34 い～は、ほ ₁ 、ほ ₂ 、へ～る、な～の 35 い ₁ 、は、つ 36 い ₁ ～に ₃ 、に ₅ ～へ ₃ 、と ₃ ～ち ₂ 37 は～ち、ぬ、わ～れ、つ 120 は ₁ ～は ₄	217.24	育成複層林へ導くための施業
33 ね ₁ 、ね ₂ 34 に ₁ 、に ₂ 、ほ ₃ 、わ～ね 35 い ₂ 、ろ ₂ 36 に ₄ 、へ ₄ 、り 37 ろ、る、そ 120 い ₁ ～ろ ₂	34.96	天然生林へ導くための施業
7 ロ 34 イ、ロ 36 イ ₁ ～ロ ₂ 120 イ～ロ ₂ 121 イ 122 イ	4.91	林地以外
計	257.11	